

患者の皆様へ

2019年3月4日

救急科・集中治療部

現在、救急科・集中治療部では、Artificial intelligence (人工知能：AI)に重症患者さんの臨床データを学習させることで、その臨床予後を予測するシステムの開発研究を行っています。このシステムが実用化されれば、診療補助に有用となり、今後の患者さんの治療に役立つものと考えられます。本研究では、ICUに入室した患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「医療データを機械学習させた Artificial intelligence (AI)による、重症患者の予後予測能についての研究」

2. 研究の意義・目的

「AIによる重症患者の予後予測システムを作成し、その精度の検証を行うことを目的とする。このシステムにより患者状態の変化を鋭敏にとらえることが可能になれば迅速な治療を開始できるため、その救命にも寄与するものと考えられる。」

3. 研究の方法

2011年1月1日から2018年12月31日までの間に当ICUに入院した重症患者の臨床データを網羅的に機械学習に使用し、予後予測のためのアルゴリズム(機械的な処理手順)を作成する。アルゴリズム作成後は、その時点から2022年3月までの間に当ICUに入室した重症患者の臨床データを用いて、その精度の検証を行う。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化し外部に洩れることのないように厳重に管理、保存します。研究成果の発表の際は、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。その場合は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

*文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

本件のお問合せ先：千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

医師 島居 傑

043-(222)-7171 内線 6365